

国の目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

村基本目標1 地域資源を活かし村民が稼げる村をつくる

【2024年度数値目標】観光交流人口100万人を目指す【単年】

(基準値 H30 : 76 万人、R1 : 79 万人、R2 : 37 万人、R3 : 40 万人)

事業効果の評価

2024(R6)年度 KPI に対して進捗状況で評価

- 5 : 進捗率 100%以上
- 4 : 80%以上～100%未満
- 3 : 60%以上～80%未満
- 2 : 40%以上～60%未満
- 1 : 20%以上～40%未満
- 0 : 20%未満

■短期・中長期の工程表

	具体的な施策	2021年度(R3)の取組み	2021年度(R3) KPI 進捗率	2024年度(5年後) KPI(業績評価指数)	R3 評価 (5段階)	評価の内容	次年度 R4 以降の取組み	見直しの要・不要
観光	○村内観光施設の周遊 ○「観る観光」から「体感する観光」 ○産業間連携等	茶臼山高原の新たな魅力づくり ・萩太郎山頂整備 ・やはず池周辺整備 ・芝桜園地整備 ・リフト下へのサンパチェンスの植栽 ・観光施設のコロナ感染防止対策の実施(観光施設トイレ洋式化)	R2 計 : 37 万人 R3 計 : 40 万人 ① 10 万人 (▲38 万人) ② 12 万人 (▲2 万人) ③ 11 万人 (±0) ④ 7 万人 (+1 万人)	・季節ごとの交流人口の増加【単年】(四半期ごとに6万人ずつ増加) 24 万人(新規) R1 計 79 万人 (基準値) ① 4～6月 48 万人 ② 7～9月 14 万人 ③ 10～12月 11 万人 ④ 1～3月 6 万人	2	・コロナ禍の影響により、芝桜まつりの中止、温泉施設の休館による、交流人口の大幅減少があったが、冬季の冷え込みにより、スキー場の利用者の増加が見られ、昨年度を上回る交流人口があった。	コロナ禍の中、県内での自然体験志向に対応すべく、施設の整備を進める	不要 【商工観光課】
農林水産	○農林水産物の新たな特産品開発、生きがい農業 ○チョウザメなどの新しい水産物の展開 ○循環型林業の推進、間伐材利用促進、基盤整備	・奨励作物の推進 ・鳥獣害対策 ・いきがい農業の推進 ・淡水魚養殖の推進 ・木材利用推進(とよね木サイクルセンターの運営)	①農林水産業従事者【累計】 R2 : 17 人 (+5 人) R3 : 17 人 (+0 人) ②木質ペレット生産量 R2 : 96 t R3 : 85 t	①農林水産業従事者数【累計】 2024 までに 20 人 (+8 人) (R1 : 12 人) 【5/8 人=63%】 ②木質ペレット生産量【単年】 120 t (R1 : 94 t) 【85 t / 120 t = 71%】	3	・淡水魚養殖関係者の増加は図られなかった。 ・木質ペレット利用は、機器の修繕が発生し十分な期間稼働できなかったため減産となった。	・引き続き、新規養殖者の確保に努めていく。 ・木質ペレットの普及拡大に引き続き努める。	不要 【農林土木課】
商工業	○新たなお土産や特産品開発 ○買い物弱者対策と合わせた商店街振興対策	・小口融資事業の実施 ・プレミアム商品券販売 ・生活応援商品券の発行 ・地元産品販売促進	R2 : 10,306 千円 R3 : 13,322 千円	・村内観光施設における地元産品販売額【単年】 10,000 千円(新規) R1:11,842 千円 R2:10,306 千円 【13,322 千円 / 10,000 千円=133%】	5	・交流人口の減少するなか、新たな地元産品(味付け鶏肉)の販売開始により、販売額の増加がみられるが、温泉施設の売店廃止による、令和4年度以降の販売額の減少が懸念される。 販売額の積算を再確認!(地元産品) 目標が達成しているなら販売額の見直し必要!ただし、販売額の維持が目的なら見直しの必要なし	新たな地元産品取扱い事業所の開拓に努める	不要 【商工観光課】 【農林土木課】
起業	○起業家補助制度 (R4より起業・特産品開発補助制度へ拡充)	・起業家・特産品開発補助金の活用	申請数 件(累計値) R2 : 2 件 R3 : 2 件	・起業支援数【累計】 2024 年までに 5 件 【4/5 件=80%】	4	多様化する働き方の受け皿となる職種が限られているため、起業する意欲のある方を支援策として、引き続き促進を図っていく。	昨年度、起業というよりも特産品開発の応援事業もあったため、新たに特産品開発に対する補助を追加し、チャレンジ支援を行う。	不要 【地域振興課】

国の目標2 地方とのつながりを築き、地方へ新しい人の流れをつくる

村基本目標2 地域ぐるみで人を迎え入れる

【2024年度成果目標】3家族定住促進【単年】

1家族3人(大人2、子1)想定
(R1:1家族2人、R2:3家族14人、R3:3家族10人)

事業効果の評価

2024(R6)年度 KPI に対して進捗状況で評価
5:進捗率100%以上 4:80%以上~100%未満
3:60%以上~80%未満 2:40%以上~60%未満
1:20%以上~40%未満 0:20%未満

■短期・中長期の工程表

	具体的な施策	2021年度(R3)の取組み	2021年度(R3) KPI 進捗率	2024年度(5年後) KPI(業績評価指数)	R3 評価 (5段階)	評価の内容	次年度 R4 以降の取組み	見直しの要・不要
定住促進	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅環境整備(公営住宅・空き家等) ○空き家活用による集落維持・活性化 ○住生活基本計画の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活基本計画の推進 	①公営住宅整備【累計】 R2 0戸 R3 0戸 ②新築・空き家等リフォーム支援【累計】 R2 リフォーム3戸 R3 新築1戸、リフォーム5戸 計6戸	①公営住宅整備【累計】 5戸 【0戸/5戸=0%】 ②新築・空き家等リフォーム支援【累計】 20戸 【9戸/20戸=45%】	①0 ②2 1	①入居状況に応じて整備を進めていく。 ②Uターン者へのリフォーム支援もあり、制度の有効活用ができた。	①老朽化した住宅の改修について計画的に実施する。 ②定住移住へ向けた取り組みを引き続き応援していく。また、住生活基本計画の見直しを検討していく。	不要 【地域振興課】 【農林土木課】
関係人口	<ul style="list-style-type: none"> ○友好パスポート事業の実施 ○サウジ・キルギスとの交流促進 ○広域連合・県境域などと連携した取り組みの推進 ○ふるさと村民制度の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ほの国こどもパスポート及び豊根村友好自治体パスポート(豊明市、飛島村)3,974人利用 ○フレンドシップ事業中止 ○県境域開発協議会 ・スポーツ交流会、文化交流会が中止 ・スタンプラリー425人 	①交流人口【単年】 R2 4,001人 R3 4,399人 ②ふるさと村民登録者【累計】 R2 179人 R3 180人 ③ふるさと納税者数【単年】 R2 136人 R3 234人	①交流人口【単年】 8,000人(R1:4,481人) 【4,399人/8,000人=55%】 ②ふるさと村民登録者【累計】 200人(R1:179人) 【180人/300人=60%】 ③ふるさと納税者数【単年】 100人(R1:94人) 【234人/100人=234%】	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により事業中止や営業縮小など影響を及ぼしている。反面、ふるさと納税者は巣ごもりの影響も考えられ目標達成した。 	こどもパスポートや県境域開発協議会などとの交流、又はふるさと村民登録、ふるさと納税など関係人口の増加を引き続き図っていきたい。	不要 【地域振興課】
人材・女性活躍	<ul style="list-style-type: none"> ○地域おこし協力隊や緑のふるさと協力隊などの外部人材受入れ ○女性活躍支援(働く女性の子育て支援、環境づくりなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の受入れ ・緑のふるさと協力隊の受入れ 	R2 2人(地域おこし:2人) R3 地域おこし:2人 緑のふるさと:1人	<ul style="list-style-type: none"> ・協力隊の受入数【単年】 4人(R1:3人) 【3人/4人=75%】 	3	新たに緑のふるさと協力隊1名を受入れ、田舎体験を通し地域住民との交流や地域貢献をすることができた。	外部人材の受入れを引き続き行い、移住定住へ繋げ地域の担い手や活性化へ繋げていきたい。また、地域おこし協力隊のPRも積極的に取り組んでいく。	不要 【地域振興課】

【国の基本目標3】結婚・出産・子育ての希望を叶える

村基本目標3 現役世代しっかり応援

【2024年度成果目標】小中学生の児童生徒数60人

(R1: 62人、R2: 47人、R3: 47人)

事業効果の評価

2024(R6)年度 KPI に対して進捗状況で評価

5: 進捗率 100%以上 4: 80%以上~100%未満
 3: 60%以上~80%未満 2: 40%以上~60%未満
 1: 20%以上~40%未満 0: 20%未満

■短期・中長期の工程表

	具体的な施策	2021年度(R3)の取組み	2021年度(R3) KPI進捗率	2024年度(5年後) KPI(業績評価指数)	R3評価 (5段階)	評価の内容	次年度R4以降の取組み	見直しの要・不要
子育て世代支援	○子育て世代支援の実施	①結婚・出産祝金 ②子どもの医療費助成 ③保育料無償化 ④保育園通園補助 ⑤保育園給食費無償化 ⑥遺児手当 ⑦放課後児童育成事業 ⑧母子保健事業 ⑨予防接種事業	R2 9事業実施 R3 9事業実施	○子育て世代支援の実施 9施策 【9施策/9施策=100%】	5	子育て世代支援については、目標の9施策は構築されているが、コロナ感染防止のために十分にできなかった施策がある。	引き続き子育て支援を実施していくが、施策の内容をより充実したものとして取り組んでいく。	不要 【住民課】
医療福祉健康	○保健指導の充実 ○医療体制の充実やICT活用 ○事業所間の連携	・地域サロンの支援 ・とよね健康マイレージの実施 ・医師の雇用継続により週5日診療を維持	①地域サロンの参加者数 R2 1,082人 R3 1,029人 ②とよね健康マイレージ参加者数 R2 176人 R3 138人	①地域サロンの参加者数【単年】 1,000人 (新規) (R2:1,082人) 【1,029人/1,000人=103%】 ②とよね健康マイレージ参加者数【単年】 300人 (R1:159人、R2:176人) 【138人/300人=46%】	3	①地域サロンの参加者数は、目標を達成しているため評価は、5 ②とよね健康マイレージ参加者数は、目標の46%のため評価は、2 ここでの総評価は、3とする。	とよね健康マイレージの参加者数が、目標に達成されていないため、積極的に推進していく。	不要 【住民課】
学校教育	○特色ある教育の推進 ○保育園・小学校・中学校の連携 ○田口高校との中高一貫教育連携	・中学校海外研修補助、国内研修補助、通学バス補助、小中学生スキー教室補助、中高一貫教育、学校給食費無償化	①中学校海外研修: 中止 ②国内研修: 中止 ③通学バス補助: 実施 ④小中学生スキー教室補助: 実施 ⑤中高一貫教育: 実施 ⑥学校給食費無償化: 実施	・特色ある教育事業数の維持【累計】 6事業 R2: 学校給食費無償化(新規) 【6事業/5事業=120%】	3	コロナ禍により、研修事業は中止となった。	現役世代への支援につながる施策であるため、今後も積極的に取り組む	不要 【教育委員会】
生涯学習	○生涯学習の場の充実	体育協会、文化協会活動(体協181人・文協60人) ・地域サークル等活動 ○スキークラブ6回×19人 延べ114名 スキー遠征参加12人 合計126人 ○卓球クラブ 小学生17回×14名 238名 中学生5回×4名 20名	①生涯学習活動の参加者数 R2 0人 R3 785人 ②コミュニティースクール地域学校協働活動参加者数 R2 1,082人 R3 902人	①生涯学習活動の参加者数【単年】 380人 (R1:313人) 【785人/380人=207%】 ②コミュニティースクール参加者数【単年】 850人(新規) 【902人/850人=106%】	5	・生涯学習活動は、コロナ禍により参加人数が減少 ・コミュニティースクール活動は、年間を通して参加者が多く、ニーズが高い。	コロナ禍により活動が中止とならなければ実施する。今後も、継続した取り組みが必要である。	不要 【教育委員会】

	<p>○ランナーズクラブ 2回×8名×11月 176名</p> <p>○弓友会 33回×6名 198名</p> <p>○軟式野球 27名 合計 785人</p> <p>・コミュニティースクール活動</p> <p>○とよね地域未来塾 開催日 114日 平均利用人数 7人 延べ 798名</p> <p>○オンライン寺子屋 開催日 10日 平均利用人数 2人 延べ 20名 小計 818人</p> <p>・その他の地域学校協働活動</p> <p>○みどり湖らんらんらん 24人</p> <p>○くらしのSTUDY (キャリア教育) 3回×20人 延べ 60名 小計 84人 合計 902人</p>						
--	--	--	--	--	--	--	--

【国の目標4】ひとが集う安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

村基本目標 4 みんなが安心して暮らせる村をつくる

【2024年度成果目標】行政区の維持 5地区

(R1:5地区 R2:5地区 R3:5地区)

事業効果の評価

2024(R6)年度 KPI に対して進捗状況で評価

5:進捗率100%以上 4:80%以上~100%未満
3:60%以上~80%未満 2:40%以上~60%未満
1:20%以上~40%未満 0:20%未満

■短期・中長期の工程表

	具体的な施策	2021年度(R3)の取組み	2021年度(R3) KPI 進捗率	2024年度(5年後) KPI(業績評価指数)	R3 評価 (5段階)	評価の内容	次年度 R4 以降の取組み	見直しの要・不要
生活基盤	○道路の整備 ○生活基盤の維持 ○買い物支援システムの活用 ○村営バスの運行 ○情報通信整備	・道路の整備 ・生活基盤の維持 ・買い物支援システム「おつかいポインタ便」運行 ・村営バスの運行	①おつかいポインタ便の利用回数 R2 51回(5名) R3 24回(4名) ②村営バスの路線維持 R2 5路線 R3 5路線	①おつかいポインタ便の利用回数【単年】 150回 R1 113回(8名)【24人/150回=16%】 ②村営バスの路線維持 5路線(新規)【5路線/5路線=100%】	①1 ②5 3	①利用促進に向けて、富山地区への参入を郵便局と協議し村内全域利用可能となったが、常連の方の減少により全体利用件数も半減した。 ②引き続き一部の便を予約バス運行し、経費削減にも努め、5路線を維持	①利用促進に向けて工夫しながら検討していきたい。 ②予約バス運行を継続し、経費削減に努め、引き続き5路線を維持する。	不要 【地域振興課】 【生活課】
広域	○広域的な連携の推進	・日本郵便(株)との包括連携協定 12/24	・広域連携協定の締結 R2 3協定 R3 1協定	・広域連携協定の締結【累計】 5協定【4協定/5協定=80%】	4	空き家活用に向け2つの協定を締結したことにより連携を強化していきたい。また、幸田町との交流に向けた取り組みも検討していきたい。	3つの協定を活かせるよう連携強化を図っていきたい。	不要 【全課】
環境	○景観向上事業の実施	・あいち森と緑づくり事業との連携による景観向上。	・景観向上整備箇所数 R2 4か所 R3 3か所	・景観向上整備箇所数【累計】 15か所【7か所/15か所=47%】	5	・あいち森と緑づくり事業と連携した事業実施を進めており、住民要望等に対応して実施ができた。	・引き続き、あいち森と緑づくり事業と連携して事業実施を進める。	不要 【農林土木課】
協働	○住民協働による自治の推進	・区のあり方検討会の開催 ・地域づくり支援交付金制度の運用	・持続可能な行政区の手引き策定事業 R2 0事業 R3 1事業	・持続可能な行政区の手引き策定事業 1事業(新規)【1事業/1事業=100%】	5	区長会や区長・女性部長合同会議など行政区の手引きの作成ができた。	引き続き、情報共有を図りながら行政区の手引きの充実を図ってきたい。	不要 【域振興課】
防災防犯	○自主防災体制の強化 ○防災訓練の実施 ○防犯や交通安全啓発	・防災資機材整備 ・災害対策基金継続 ・富山地区へレポート整備	① 防災資機材の整備数【累計】 R2:5箇所、R3:0箇所 ② 現役消防団員数の維持 R2:51人、R3:51人	①防災資機材の整備数【累計】 10か所【15か所/10か所=150%】 ②現役消防団員数の維持 50人(新規)【50人/51人=102%】	5	①防災資機材整備は、令和2年度に5か所を新設し全16か所となっており、令和3年度は16か所を維持している。 ②令和3年度の現役団員数は51人で維持目標団員数以上である。	①R1年度末で11か所整備済みであり、R2~R6は累計10か所の防災倉庫維持が目標。 ②現役団員数50人維持を目標に団員確保に努める。	不要 【総務課】
文化	○伝統文化の維持	・花祭3地区、御神楽祭り1地区開催	・伝統芸能の維持 R2:4地区、R3:4地区	・伝統芸能の維持 4地区【4地区/4地区=100%】	5	コロナ禍により各地区とも式典のみの開催となったが、中止には至らなかった	今後も継続して取り組む	不要 【教育委員会】